

「台風をつくる(5)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

教科書に載っている、台風の気象衛星画像を参考に、各研究所(班)の台風の模型が完成した。できた模型は、まず各班の机上や壁面に並べて、その変化を確かめる姿が見られた。

私は、それらの作品を一旦集めて、スキャナーで読み込んで、動画を作ってみた。これが思いのほかわかりやすく、雲の動きがよくわかる。次の授業では、電子黒板に映して、各班の作品を比較することにした。



この「台風の模型づくり」の一連の活動では、以下のような学びや効果があったように思う。今後、もう少し教材研究を深めてゆきたい。

- ・一人ひとりが台風の模型を作ることによって、台風の構造や、部位による雲の厚さのちがいを、写真から注意深く読み取ろうとするようになった。
- ・平面的な画像の読み取りだけでなく、さまざまな資料から、立体的な台風の構造を理解することができた。
- ・協働して、台風の位置や形の変化の模型を作り、それを動画で観ることで、自分で作った台風模型が、実際の台風のように動いて見えることを、実感できた。
- ・身近で簡単な材料で、比較的短時間で完成させられるので、発展的な学習としても使える。

「台風の模型動画」はこちらで見られます。

<http://www.kitakaruzawa.net/rika/movie-t.htm>

